

成果の説明書

(氏名) 阿久津 由佳	(学部) 経済学部
1 重要事項 (1) カリキュラム改革の実施 2018 年度に最も力を注いだのは、英語カリキュラム改革の実施である。新カリ 2 年目となった今年は、2 年生すべての科目が実施され、新科目を担当の非常勤講師の先生方への説明や調整などが特に多く必要となった。また、私個人は担当科目の半分が初めての科目となり、教材研究や授業準備にも時間がかかった。 具体的には、 ①新たに実施された必修科目についての指針、内容など詳細の決定及び説明 2 年生の必修科目は、2018 年度から開始となったため、非常勤の先生方を含め、全員今年が初めての授業となる。どのクラスでもほぼ同等の授業内容となるように、レベルごとに教科書や共通テストを同一のもので実施したが、そのために専任間と専任と非常勤講師の先生方との間での事前の計画や打ち合わせ、説明の文書化などを行った。 ②共通テストの準備、実施 担当レベルのコーディネーターとしてレベル共通テストを作成し、実施、結果をまとめた。 ③スピーキング共通テストについて非常勤講師にむけての説明会を開催 具体的な内容や実施方法についての説明会を実施し、そのための準備も行った。 ④M-reader 説明会の実施 今年から導入を開始した M-reader について具体的な使用方法等についての説明会を実施した。 ⑥コースリーダー業務の遂行 今年から開始の 2 年生の必修科目について、コースリーダーとしてカリキュラムに関して非常勤講師の先生方に個別に内容等の説明を行ったり質問に対応した。 (2) 時間割作成、採用活動主担当者としての役割 次年度の時間割作成、採用活動主担当者として、2018 年度に入ってから 1 年間の採用スケジュールを作成、夏から計 3 回公募を実施した。また、非常勤講師の先生方のご都合、本学の各学部の時間割ルール、学生の学習に最適な必修科目間の配置等、多くの要素を考慮に入れて時間割の原案を作成した。非常勤の先生方のご辞退などが相次ぎそのたびに一から作成しなおしたため、今年度後半はこの作業に一番時間を割く結果となった。 (3) 教育 現行の授業の改善に向けての取り組みも引き続き行っている。2018 年度は、2 年生の Business English を 2 種類、新科目として担当したが、TOEIC 問題の傾向の分析の経験を活かして、教材の内容にメリハリをつけるとともに、学生が能動的に学習できる英語授業の形態を目指している。また、基本的なビジネスのフレーズを覚えて使うための工夫をすることで、学生は TOEIC にも直結する語彙・表現を身に付けられると考えている。 また、授業外での積極的学習を促すため、授業時間外に希望者を対象に個別の英語学習相談や留学相談を実施し、各自のレベルや適性、目標に合わせた学習、留学計画作成のアドバイス等を行うことも継続している。	

(3) 研究

前年度に引き続き英語の語用論的要素をどのように学校英語教育に取り入れるかについての研究を進めている。2018年度は、LEBCSR-17で発表した論文を発展させるためのデータの分析を行い、再度のデータ収集も行った。

2 その他の事項

英語部会メンバーとして、カリキュラム改革をはじめとする英語化関連の課題解決のための英語部会に参加した。

3 次年度以降の計画・抱負

2019年度は、新カリの調整と、今後の変更のスタートとなる年となる。2年間でわかった新カリの問題を解決し、よりよいカリキュラム実施のために英語部会メンバーとして尽力していきたい。

また、個人の研究については論文として発表できるように最終調整をしていきたい。